

◎ホームレスの人をビジネスパートナーにする、というアイデアでホームレス問題解決に挑戦する試み

1. ホームレス問題と市民&ビッグイシュー基金の活動

①ホームレス問題と市民活動

- ・人はなぜホームレスになるのか—失業、住居の喪失、身近な絆の不在／社会的孤立
- ・市民活動の5タイプ—夜回り、炊き出し、福祉の制度につなぐ、就労支援、仕事の提供

②ビッグイシュー基金の活動—3つの柱と自助型の応援

- ・3つの柱—自立支援、問題解決のネットワークと政策提案、ボランティアと寄付参加
- ・自助型の応援—仕事、情報、スポーツ・文化活動などの提供により選択の機会をつくる

2. ビッグイシュー基金の活動プログラム

①生活自立応援

- ・情報提供—月例サロン、道端交流、路上脱出・生活SOSガイドの発行など
- ・生活自立—健康（月1回）、住宅、仕事、福祉、法律、生活など各種相談、貯蓄応援
- ・仕事・就業応援—すぐできる雑誌販売、就労の情報提供、コーチング、身だしなみなど
- ・スポーツ・文化活動—自立への意欲、関係を生む。サッカー、野球、ダンス、路上文学賞、歩こう会（月1回）、英語など自主的なクラブ活動の応援など

②問題解決へのネットワークづくりと政策提案

- ・社会的不利・困難を抱えた若者応援ネットワーク—若者ホームレス白書、若者応援プログラム集、若者政策、仕事づくりとしてのシビックエコノミー運動など
- ・住宅—住宅政策の提案と空き家活用のステップハウスの実験的運営事業
- ・ギャンブル依存症対策—疑似カジノ日本の実態、当事者の聞き取り記録集、政策の提案
- ・ダイバーシティサッカーの推進—人をつなぐ社会性スポーツの推進、NPOの立ち上げ

③ボランティアと寄付活動への参加機会の提供

- ・ボランティア活動への参加—月例の説明会（登録者第1期277人、第7期1,005人）
- ・寄付参加のプログラム—多様な寄付メニュー、税制優遇寄付

3. ビッグイシュー基金の活動資金調達—活動への寄付参加プログラム

①市民応援会員—あかぬけ（2,500円）、ぐっすり（5,000円）、にっこり（15,000円）、ひとり立ち（50,000円）、巣立ち（100,000円）、企業・団体サポーター（25～100万円）

- ・にっこり—07年～17年計延3,686人、5,528万円（年平均367人、553万円）
- ・ひとり立ち—07年～17年延1,185人、5,923万円（年平均119人、592万円）

②一般寄付—税制優遇のある寄付（2012年9月～17年8月の5年間）

- ・出会い（5千円）延1,252人、626万円（年平均250人、125万円）
- ・つながりウォーク（1万円）延1,017人、1,017万円（年平均203人、203万円）
- ・実践応援ラン（2万円）延400人、800万円（年平均80人、160万円）
- ・市民包摂マラソン（5万円）延320人、1,600万円（年平均64人、320万円）
- ・市民信頼社会（10万円）延198人、1,980万円（年平均40人、400万円）
- ・任意寄付（本寄付、遺贈除く）延2,123人、2,958万円（年平均425人、592万円）

③参加としての寄付—過去5年の年間平均寄付参加者数1,945人、金額3,750万円

4. NPOにおける活動プログラムと資金調達

①まず、アイデアあふれる活動、多様なプログラムがあつての資金調達プログラム

②参加者を当事者にできる活動プログラム

③徹底した活動の公開と共有—月1～2回のニュースレターの発行・送付など

④参加したくなる寄付、資金調達プログラムの準備